

平成 21 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社エイアンドティー
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 磯 村 健 二
 (コード番号：6722)
 問 い 合 わ せ 先 専 務 取 締 役 黒 澤 研 治
 電 話 番 号 0 4 5 - 3 1 7 - 1 2 5 2 (代)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 12 月期(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)の第 2 四半期累計期間及び通期(連結・個別)の業績予想について、平成 21 年 5 月 7 日付「特別損失の発生および業績予想修正に関するお知らせ」にて発表いたしました予想額を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 21 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日)

(1) 連結 (単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	3,723	127	113	11	1円76銭
今 回 修 正 (B)	3,917	356	345	148	23円77銭
増 減 額 (B-A)	194	229	232	137	—
増 減 率 (%)	5.2%	180.7%	206.0%	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 平成 20 年 12 月期第 2 四半期	3,336	153	145	76	12円19銭

(2) 個別 (単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	3,335	118	104	10	1円60銭
今 回 修 正 (B)	3,540	331	321	134	21円54銭
増 減 額 (B-A)	205	213	217	124	—
増 減 率 (%)	6.2%	181.2%	209.2%	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 平成 20 年 12 月期第 2 四半期	2,948	112	104	52	8円42銭

2. 第 2 四半期累計期間業績予想修正の理由

平成 21 年 12 月期の第 2 四半期連結累計会計期間において、臨床検査機器システムの販売は、期初の予想を若干下回る見込み(約 62 百万円減)であります。一方、臨床検査試薬及び消耗品等の販売は主に OEM 先への販売が順調に推移したことにより、期初見込んだ予想額を上回る見込み(臨床検査試薬; 約 123 百万円増、消耗品等; 130 百万円増)であります。その結果、売上高は、前回の予想額より約 194 百万円増加する見込みであります。利益面においては、臨床検査試薬及び消耗品等の売上が順調に推移したことに加え、販売費及び一般管理費の抑制(約 58 百万円減)により、営業利益(約 229 百万円増)、経常利益(約 232 百万円増)、四半期純利益(約 137 百万円増)が増加する見込みであります。

個別の業績につきましても、連結とほぼ同様の理由により、業績予想を修正いたします。

NEWS RELEASE

3. 平成 21 年 12 月期通期業績予想の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

（1）連結

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	7,400	380	350	146	23円41銭
今回修正（B）	7,800	570	550	260	41円55銭
増減額（B－A）	400	190	200	113	—
増減率（%）	5.4%	50.0%	57.1%	77.5%	—
（ご参考）前期実績 平成 20 年 12 月期	7,051	317	296	117	18円85銭

*平成 21 年 7 月 1 日付で唯一の連結子会社を吸収合併し、非連結決算会社となったことから、通期連結業績予想数値につきましては、参考数値となります。

（2）個別

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	7,012	371	341	480	76円83銭
今回修正（B）	7,420	550	530	580	92円69銭
増減額（B－A）	408	179	189	99	—
増減率（%）	5.8%	48.2%	55.4%	20.6%	—
（ご参考）前期実績 平成 20 年 12 月期	6,255	214	192	58	9円33銭

*平成 21 年 7 月 1 日付で連結子会社を吸収合併したことにより、平成 21 年 2 月 10 日「特別利益の発生に関するお知らせ」にて発表したとおり、抱合せ株式消滅差益が特別利益として約 340 百万円が下期に発生する見込みであります。

4. 通期業績予想修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、臨床検査試薬及び消耗品等について、主に OEM 販売が上期同様、堅調に推移し、期初見込んだ予想額を上回る見込み（臨床検査試薬；168 百万円増、消耗品等；170 百万円増）であります。また、臨床検査機器システムにおいて、検体検査装置は主に小中規模医療施設向けの小型血球計数装置及び新製品の全自動血液凝固分析装置の販売が低調に推移する見込み（約 97 百万円減）であります。また、検体検査自動化システムは前年からのキャリーした案件に加え、下期は上期同様の販売が見込まれることから、期初の予想を上回る見込み（約 133 百万円増）となります。これまで販売数が順調に増加している臨床検査情報システムにつきましては、期初予想通りの推移を見込んでおります（約 26 百万円増）。その結果、売上高は前回の予想額より、約 400 百万円増加する見込みであります。

利益面においては、売上高の増加に加え、平成 21 年 7 月 1 日付で連結子会社を吸収合併し、経営資源の集約化及び人員再配置を行ったことにより、販売費及び一般管理費が減少する見込み（約 100 百万円減）であり、営業利益（約 190 百万円増）、経常利益（約 200 百万円増）及び当期純利益（約 113 百万円増）が増加する見込みであります。

個別の業績につきましても、連結とほぼ同様の理由により、業績予想を修正いたします。

なお、平成 21 年 7 月 1 日付で唯一の連結子会社を吸収合併し、非連結決算会社となったことから、通期連結業績予想数値につきましては、参考数値となります。

以上

（注）上記の業績見通しにつきましては、現時点で得られた情報に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。